

## 矢追インパクト療法による姿勢の矯正

Postural rejuvenation with Y.I.T.

山脇診療所  
Yamawaki's Outpatient's Clinic

やまわき たかし  
**山脇 昂**  
Takashi Yamawaki

**【目的】**年を取ってくると、骨粗鬆症や脊柱管狭窄症により次第に円背・亀背・側弯等になってきて、身長が減り、測定しづらくなる。筋力の衰え sarcopenia による frailty だ。これらを積極的に矯正する治療手段は現在ない。姿勢を矯正すれば諸臓器の圧迫がとれ、肩こり・腰痛・歩行困難等から解放され、歩行が楽になり、色々様々の内臓諸臓器疾患からも解放される。この治療は骨を直接治すのではなく、その場で循環を良くし、即刻体温を上げ、傷んだ筋肉や腱・滑膜・骨膜等軟部組織を回復する刺激だ。筋肉や軟部組織循環を回復すれば、骨への負担が減り、椎骨等も自然に修復され、疼痛から解放される。

**【方法】**現に減感作療法として使用できる数種アレルギーエキスを、アレルギー希釈液（鳥居）を用いて、反対に10億倍～1兆倍等に超微希釈し、皮膚浅層（皮内）に0.01～0.05ml注射を数個～数十個のクワデルを作るだけの簡単な療法です。子供の喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎等に利用していたが、大人のリウマチ性等腫痛する関節疾患他色々な病気にも著効を呈す。

**【結論】**この療法を定期的にやっていると血中中性脂肪（TG）が漸減する。体内でTGを燃焼させないで、糞便あるいは尿中に排出させて血中

TGを減少させる内服薬の経路とは違い、体内では生理的経路すなわち筋肉内で脂肪酸を燃焼させ、体温を即座に0～1℃上昇させる。沁みて広がる刺激は抗酸化作用をなし、繰り返すと、若返り現象が起こる。

**【詳細解説】**骨の問題というよりは、筋肉等の軟部組織の問題なのです。姿勢を矯正すれば諸臓器の圧迫がとれ、肩こり・腰痛から解放され、歩行が楽になり、排痰・嚥下障害とか頻尿等迄も色々様々の疾患・症状から解放されると思う。私の遣っている治療はEBM（Evidence Based Medicine）ではなく、其の基になるFBM（Fact Based Medicine）だ。下段に写真で示す。この治療は骨を直接治すのではなく、その場で循環を良くし、即刻体温を上げ、傷んだ筋・ファスチアや腱・滑膜・骨膜等軟部組織を回復する刺激だ。筋や軟部組織の循環が回復すれば、骨への負担が減り、椎骨等も自然に復旧し、疼痛から解放されて来る。整形外科医からは相手にされなく、そんな治療ないと思われている。整形外科学会では骨サイドからの治療を主とするアプローチだ。筋等軟部組織からのアプローチがベストと思うが、現段階ではそこには至っていない。筋肉を補強する治療法はマニピュレーション・リハビリテーション等あるが、長期間を要し、これも余り効果的と

は言えない。それに引き換え矢追インパクト療法はこの療法の前後に眼裂の大きさの変化、表情・血色の変化・身長の変化を観察出来ます。気分の変化は本人の感性と言葉を待たねばなりませんから、色々ですが、皮内注射後10分も経てば、概ね〈気分がよくなった〉〈頭がすっきりした〉と表現されます。矢追インパクト療法は日本臨床内科医学会で何回も発表された故矢追博美先生（平成27年2月没）が今現在行われているアレルギー性鼻炎・喘息・アトピー性皮膚炎等に対する減感作療法の、長期間を要し、効果のなさ、薄さ、危険性を無くすべく、かつもっと効果的たらんと、現に使用できる数種アレルゲンエキスを、アレルゲン希釈液（鳥居）を用いて、反対に10億倍～1兆倍等に超微希釈し、皮膚浅層（皮内）に0.01～0.05 cc注射を数個～数十個のクワデルを作るだけの簡単な療法だ。子供の喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎等に利用してきましたが、大人の疼痛性関節疾患等色々な病気にも効きます。この作用は人間には不利益反応と考えられている神経軸索反射を逆に利用し、antidromic（逆走）刺激による体温上昇（筋肉中の脂肪酸の燃焼）によるものだ。不利益反応であるアナフラトキシン誘発を抑え、アナフィラキシー反応を起こさない程度の弱刺激を皮膚浅層（皮内）に数個～数十個与える療法だ。利益反応に変えるのだ。この療法を定期的に行っていると血中中性脂肪（TG）が漸減していく。TGとはグリセリンに3個の脂肪酸が結合したものだ。体内でTGを燃焼させないで糞便あるいは尿中に排出させて減少させる内服薬の経路とは違い、生理的経路すなわち筋肉内で脂肪酸を燃焼させ、体温を即座に0～1℃上昇させ、減少させる健康的な経路だ。脂肪酸を体内で生理的に燃焼させることは、基礎体温が上昇し、筋肉運動をすることと同じであり、適度な疲労感が湧き、良く寝られるようになり、食欲が付き、筋力が付き、関節の柔軟性・可動性が高まり、基礎代謝が高まり、

皮膚はきめ細かくなり、湿疹とか皮膚炎（アトピー性皮膚炎・自家感作性皮膚炎・老人性脂漏性湿疹等）は消失し、爪の伸びが早くなり、頭髮の伸びも早くなり、増毛もします。姿勢の矯正も起こります。体温が0～1℃上昇するということは代謝が高まり、免疫力が高まり、体の中の病的な箇所の修復が始まり、1～2週間間隔で繰り返し行っていると、若返り現象が起こる。頬に打つと歯痛・歯肉炎・歯槽膿漏・歯痛・顎関節症・三叉神経痛等に効果的だ。したがって患者さんには何でもよく食べてくださいと願います。せっかく火種を入れても、ストーブに燃料の石炭が入っていないと、空焚き状態となり、ストーブを傷める。体では疲労・疲弊・敗北感だけが残る。目に対する効果は別誌（2021年4月号）に掲載した。ドライアイ・涙目・視力改善にも役立つ。眼筋・眼瞼板とか眼輪筋等の活性化になっている。閃輝暗点発作中とその後の片頭痛をその場で救えます。後頭部に打つと、刺激は頭蓋骨を貫き、視覚領野を刺激している兆候も見られる。〈眼前が明るくなり、良く見えるようになり、目がハッキリした〉と言う。指のヘバーデン結節変形は治らいと言う整形外科界の常識ですが、それにもトライしている。痛くてピアノも弾けなくなり、うつ状態だった方が弾けるようになったと喜ぶ人、注射は痛い少し変形が治ってきたと喜んでくれる方もある。中学の女性教師が定期身体検査でヘバーデン変形を指摘され、黒板に字が書けなくなって困っていたのが、変形はそのままだが一回で書けるようになったと喜んだ。面白いことに指先をYITで刺激していると、腸の蠕動運動が良くなってきて蠕動音が盛んに聞き取れるようになる。何か関連性があるものと思う。屈伸筋腱の末端付着部と関節包が刺激を受け、凝り固まった慢性炎症が少しとれ、関節ロックが軽度解除するのではないかと思う。無菌性アキレス腱付着部炎も整形外科的には難渋するが、矢追インパクト療法は抜群に効果ある。他の腱炎・筋炎・腱鞘炎

◆ Clinical Academic Topics ◆

においてもしかりだ。モートン病も親趾裏の種子骨周囲炎も良く治る。親指の腱鞘炎であるドケルバン病, 手の中手指節 (MCP) 関節・手首関節・膝関節等の腫脹・疼痛・発赤の甚だしい関節リュウマチ・頸部の関節リュウマチにも著効する。炎症が相当に風ぐのであろうと思う。これらは飽く迄もそれらの小さな筋腱を刺激し, 微小循環を良くし, 炎症でそこに蟠っている脂肪酸を燃焼させるためと思う。Deep inflammation を救うために artificial shallow inflammation を作って誘導してやるために起こる現象だ。頭部にやると頭皮を輪が広がるように広がって, 頭皮を刺激している

のが解かる。頭蓋骨を貫き脳内に刺激が浸透していくのも実感でる。脳も皮膚同様発生学的には外胚葉だからだろう。認知症の予防・治療に役立つものと予想する。増毛にも役立つ。しばらくして頭痛が消えると爽やかな気分になる。これを利用すると片頭痛・耳鳴り・眩暈に効果有ります。うつ病・認知症・パーキンソン病等精神神経疾患にも効果が期待される。うつ病への効果は, 当人には自覚的にも難しく, なかなか具合良くなってきたとは言いませんが, 行動が敏捷かつ活発化することと, 不眠からの回復が一番のインジケーターだと思う。



症例 1 背中が伸びているのと同時に, 体温が0~1℃上がりますから, 直前・直後の顔色・血色の変化と着ている着物の色の変化に注目ください。



症例 2 本人も気付いていない体幹傾斜が1瞬にして矯正された2例

症例 3 姿勢が矯正されて行く経過を1～3年追った例。



1 回目 YIT  
(参考:若い時身長 170cm)

直前直後

同五月

同夏  
身長 157.1cm

同冬  
身長 160.0cm

症例 3-1 背広の色も変化した。76 歳 男性 立位身長測定不可 (2001 年 2 月 17 日)



症例 3-2 直前・直後の姿勢も着物の色も変わった。背中には2瘤だったという。この方は腎機能も改善した。腎の周囲からの圧迫が解放されたからではないか。腎機能の改善に寄与するのではないか? という示唆を得た。



症例 3-3 最初直前・直後の黄色のシャツの色も変わった。染めていた頭髮が伸び、染めなくなり、モーツァルトのようなロマンスグレーになった。

◆ Clinical Academic Topics ◆



症例 4 YIT 直前・直後の矯正された例 f・iは首たれ病（首下がり病）も矯正された。



症例 5 若い女性も姿勢が正され、いっそう美人になった。着ているシャツの色が変わっているのがわかります。



症例 6 小学 6 年生 何故か歩行できなくなり 6 か月間学校に行けなかった。その間医療センター・神経病院であらゆる検査をやったが原因わからなく、そのままになっていた。YIT3 回で完全に回復した。もう 1 人の方は 3 か月間で美人になった。

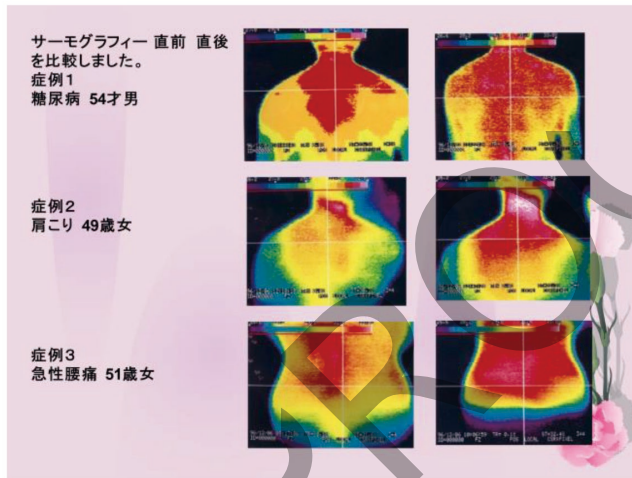
◆ Clinical Academic Topics ◆



症例7 クロウン病で入院しステロイドホルモンを多量に使用し、退院したが骨軟化症で円背になったが YIT で瞬時に矯正された。



症例8 高TG(中性脂肪)血症だった御婦人が1年間癌の夫と共に YIT をお相伴で継続したら、きめ細かく色白になり、姿勢も良くなった。ネックチーフは同じものを着けている。



YIT 直前・直後のサーモグラフィー



YIT 直前・直後の体温変化具体例